

平成26年度事業報告

本県農業を取り巻く情勢は、担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の増加、食料自給率の低下、食の安全・安心対策など多くの課題に直面している。特に本県の園芸生産は、農業産出額全体の約5割を占める重要な部門であるが、人口減少等により野菜消費が減退する一方、輸入青果物の増大などにより価格が低迷する中、燃油や生産資材等の高騰により生産者の所得率の低下が続いている。

県では、新たな総合計画である、「新輝け！ちば元気プラン」を策定し、この中では、戦略的な産地強化と高収益型農林水産業への転換による「農林水産王国・千葉」の復活を目指すとともに、「農業産出額全国2位奪還」を目標とし、農業者、JAグループなどの緊密に連携する「オール千葉」体制を構築し、国内外産地に打ち勝てる力強い産地づくりに取り組むための中心的役割として、当協会が位置づけられている。

そこで、当協会においては、平成26年4月から会員の拡大や業務の拡充、組織体制の強化など機能を大きく強化したところである。そして、この農業施策に沿って、千葉県産の品質やブランドなどを統一し、大手流通に対応していくため、県域の品目別組織づくりや販売促進活動の強化、県が育成した新品種をはじめとする優良品種の種苗安定供給体制を整備するなど、関係機関・団体と連携して種々の事業を進めてきた。

さらに、個々の経営体を強化していくため、市場価格の低落に備えた野菜価格安定事業を実施するほか、担い手への農地集積、後継者育成対策、6次産業化の取組推進など、総合的な支援を行ってきた。具体的な事業内容は以下のとおりである。

I 会議等の開催（法人運営事業）

1 会議の開催

(1) 理事会の開催

- ア 定例理事会 平成26年5月12日（月） 千葉市：ホテルプラザ菜の花
 - (ア) 新規会員の入会
 - (イ) 平成26年度通常総会の開催
 - (ウ) 平成26年度通常総会提出議案
 - (エ) 顧問の推薦
 - (オ) 職員の業務分担
- イ 臨時理事会 平成26年5月26日（月） 千葉市：ホテルプラザ菜の花
 - (ア) 理事長、副理事長、専務理事の選任
- ウ 臨時理事会 平成26年7月18日（金） 千葉市：県庁南庁舎2階会議室
 - (ア) 新規会員の入会
 - (イ) 監事の補欠選任
 - (ウ) 平成25年度事業報告及び収支決算の修正（青果物価格補償協会事業）
 - (エ) 臨時総会の開催
 - (オ) 臨時総会の提出議案
 - (カ) 事業円滑化基金の対応
 - (キ) 主要事業の進捗状況
 - (ク) 野菜価格補償事業の取扱銀行の変更

- エ 臨時理事会 平成26年10月29日(水) 千葉市：県庁南庁舎9階会議室
- (ア) 新規会員の入会
 - (イ) 臨時総会の開催
 - (ウ) 農地中間管理事業評価委員会の設置
 - (エ) 事業円滑化基金対応報告
- オ 定例理事会 平成27年3月23日(月) 千葉市：ホテルプラザ菜の花
- (ア) 平成26年度予算の更正
 - (イ) 平成27年度事業計画及び収支予算
 - (ウ) 平成27年度農地中間管理事業の推進体制と事業評価委員会の委員選任報告

(2) 総会の開催

- ア 通常総会 平成26年5月26日(月) 千葉市：ホテルプラザ菜の花
- (ア) 報告事項 平成26年度事業計画及び収支予算
 - (イ) 議案
 - ・平成25年度事業報告及び収支決算
 - ・平成26年度会費額
 - ・定款の一部改正
 - ・理事及び監事の選任
- イ 臨時総会 平成26年8月8日(金) 書面による開催
- (ア) 平成25年度事業報告及び収支決算の修正(千葉県青果物価格補償協会事業の事業報告及び収支決算)
 - (イ) 新規会員の会費額
 - (ウ) 監事の補欠選任
- ウ 臨時総会 平成26年11月21日(金) 書面による開催
- (ア) 新規会員の会費額

(3) 監査の実施

- ア 第1回監査 平成26年5月2日(金) 君津市：JA きみつ会議室
- (ア) 平成25年度事業報告及び収支決算
- イ 第2回監査 平成26年6月24日(火) 千葉市：農林中央金庫千葉支店
- (ア) 千葉県青果物価格補償協会事業収支決算の修正

2 税理士による業務運営の適正化

税理士との顧問契約を行い、公益法人の適正な会計及び協会全体の運営を図った。

- (1) 顧問契約 加藤武人税理士事務所・株式会社加藤会計事務所
(千葉市中央区新宿2-5-3)
- (2) 代表 代表取締役税理士 加藤武人(担当税理士 石毛利和)
- (3) 支援内容 会計支援、公益法人運営支援等

II 生産振興対策事業（公益目的事業1）

1 産地活性化促進事業

（1）園芸産地強化事業

国内外の産地間競争が激化する中、近年増加している量販店などの大口需要に対応するためには、個別産地の取組に加え、県内産地が戦略的に連携するオール千葉体制の販売力強化の取り組みが求められている。

そこで、本県の主要な園芸品目（トマト、ねぎ、にんじん、さつまいも等）を対象に県内産地が参加する品目別協議会を設置し、販売戦略の合意形成を図りながら、出荷規格の統一や販売促進活動、品質向上のための栽培技術改善や先進地視察等を行い、本県園芸農産物の生産力・販売力を強化し、他県の産地に打ち勝てる力強い産地づくりを推進した。

ア 千葉県園芸産地連携推進会議の開催

県内の園芸関係者が一堂に会し、産地連携を柱とした本県園芸の振興方針について情報を共有することを目的に産地連携推進会議を開催した。

主 催：千葉県 全国農業協同組合連合会千葉県本部、千葉県園芸協会

期 日：平成26年8月19日

場 所：千葉市

参 集：農業協同組合、市場関係者、千葉県農業協同組合中央会
県農林水産部関係機関、千葉県園芸協会賛助会員（農業法人）

イ 4品目（トマト、ねぎ、にんじん、さつまいも）協議会の設置

（ア）トマト協議会

目標：「品質の安定化と計画的出荷による周年販売体制の強化」

《主な活動》

- ・ 等級呼称や選果基準の統一を図るため、「千葉県選果基準表」及び「カラーチャート」の作成・配付
※14JA、農業生産法人、27市場、県関係機関等に配付
- ・ 抑制トマトにおける遮熱試験の実施（山武・印旛地区）
- ・ 統一販促資材（スイングポップ・シール）の作成
- ・ 全国一のトマト産地（熊本県）の視察（H27.2.24-25）
（県、全農千葉県本部、5JAが参加）

（イ）ねぎ協議会

目標：「省力化・効率化による規模拡大と計画出荷の実現」

《主な活動》

- ・ 若手生産者を中心とした先進産地（JA岩井）の視察（H26.12.2）
- ・ 収穫機械の実演会の実施（H27.2.13）

(ウ) にんじん協議会

目標：「品質の安定化と周年販売体制の強化」

《主な活動》

- ・ 3 JA (山武郡市・千葉みらい・富里市) による合同販促の実施 (H26. 11. 27)
- ・ 春夏にんじん指導者向け研修会の開催 (H26. 12. 16)
- ・ 秋冬にんじんの貯蔵試験の実施 (H27. 3～)

(エ) さつまいも協議会

目標：「貯蔵庫の整備・活用による戦略的出荷体制の構築」

《主な活動》

- ・ しっかりと・あまい「千葉のべにはるか」を目指した「30日貯蔵ルール」の徹底
- ・ 「べにはるか」の統一販促資材 (焼芋袋、レシピ等) による、市場や量販店を中心とした販売プロモーション

ウ その他

- (ア) 千葉県合同品目別協議会の開催 (H27. 2. 17)
- (イ) やまといも研修会の開催 (H27. 1. 27)
- (ウ) 「ちば丸」の販促用シールの作成 (10,000 枚)
- (エ) 施設園芸における強風・降雪対策研修会の開催 (H27. 2. 10)

(2) 生産技術向上対策事業

ア 第62回千葉県野菜品種審査会の開催

野菜優良品種の選定と野菜種子の品質改善を目的とした、千葉県野菜品種審査会を開催により、優良品種の普及・定着を促進し、園芸農産物の品質向上を図った。

主催：千葉県、日本種苗協会千葉県支部、(公社)千葉県園芸協会

| 品目 | 作型 | 実施日 | ほ場地 |
|---------|----------|-------------|-----|
| アールスメロン | ハウス半促成栽培 | H26. 6. 25 | 館山市 |
| チンゲンサイ | 秋どり | H26. 10. 10 | 旭市 |
| ねぎ | 秋冬どり | H26. 11. 7 | 山武市 |
| こかぶ | 秋冬どり | H26. 11. 18 | 柏市 |

イ 各種共進会の開催

生産技術の向上や園芸生産者の意欲増進を目的とした各種共進会を開催した。また、共進会の会場は一般消費者が多数来場可能な大型量販店等を利用することにより、本県園芸農産物の理解を高め、利用促進を図った。

| 共進会名 | 開催期日 | 場所 |
|------------------|----------------|---------------|
| 千葉県びわ共進会 | H26. 6. 12・14 | 南房総市、イオン幕張新都心 |
| 千葉なし味(豊水)自慢コンテスト | H26. 9. 6～7 | イオン津田沼店 |
| 千葉県植木共進会 | H26. 10. 24～26 | (株)東金植木流通センター |
| 千葉県フラワーフェスティバル | H27. 1. 8～12 | (株)三越千葉店 |

(3) 園芸振興表彰事業

県域でのコンクールをはじめ、県内各地域で開催される園芸品目対象の共進会や県民参加型のコンテスト等、公益的に広く開催されるものに対し、会長賞を交付することにより、園芸品目の奨励を図った。

・公益社団法人千葉県園芸協会会長賞交付実績（17点）

| 共進会、コンクール名称 | 場 所 | 開催日 |
|--------------------------------|---------------|-------------------|
| 千葉県温室びわ共進会 | 枇杷倶楽部 | H26. 5. 9～10 |
| 千葉県びわ共進会 | 南房総市役所 | H26. 6. 12 |
| 富里市産業まつりすいか共進会 | 富里中央公民館 | H26. 6. 15 |
| 横芝光町夏期農業改良共進会 | 横芝光町役場 | H26. 6. 20 |
| 市原市農業振興協会 | JA 市原市農産物直売所 | H26. 8. 2 |
| 千葉なし味自慢コンテスト | イオン津田沼 | H26. 9. 6 |
| 第 29 回八千代市園芸作物 (梨・豊水の部) 共進会 | イオン八千代緑が丘店 | H26. 9. 6 |
| 第 34 回八千代市園芸作物共進会 | 八千代市総合運動公園 | H26. 10. 18～19 |
| 第 42 回千葉県植木共進会 | (株)東金植木流通センター | H26. 10. 21～11. 1 |
| 市原市農林業まつり農林水産物共進会 | 市原市消防局 | H26. 11. 7～9 |
| 第 47 回船橋市農水産祭農産品評会 | 船橋市地方卸売市場 | H26. 11. 8 |
| 横芝光町産業まつり農業改良共進会 | 横芝光町体育館 | H26. 11. 15 |
| 八街市産業まつり農産物共進会 | 市立八千代中学校 | H26. 11. 22～23 |

| | | |
|------------------------------|--------------------------|----------------|
| 道の駅くりもと 「冬の草花寄せ植えコンテスト」 | 道の駅くりもと 紅小町の郷 | H26. 11. 22～23 |
| 第 35 回千葉県フラワーフェスティバル花き共進会 | (株)三越伊勢丹三越千葉店 | H27. 1. 8～9 |
| 第 4 回千葉県高校生 フラワーデザインコンテスト | 千葉三越 千葉県フラワーフェスティバル会場 | H27. 1. 10 |
| 第 43 回君津地域花き共進会 | イオンモール富津 | H27. 1. 16～18 |

(4) 担い手対策

千葉県青年農業者等育成センターとして、青年農業者の確保・育成に向け、関係機関、農業団体等と連携して、就農支援活動を効果的に進めるとともに、就農相談員を設置し就農相談や就農者交流会を実施した。

また、平成 27 年 1 月に農業無料職業紹介所の認可を取得し、農業法人等の求人情報収集や就農希望者への就職あっせんを開始した。

ア 新規就農支援活動連絡協議会の開催

青年等の就農促進を円滑に進めることを目的として、関係機関・団体が密接に連携できるよう、就農関連情報の共有を図った。

・平成 26 年 7 月 15 日 会場：千葉市

イ 就農相談活動

相談実績：相談件数 238 件、相談者数 238 名

・新・農業人フェア相談会への参加

計 4 回 (H26. 7. 5・9. 8・12. 20・H27. 2. 8) 相談者数：175 名

・千葉県農林水産就業相談会

平成 26 年 11 月 23 日 会場：千葉市 相談者数：40 名

ウ 千葉県認定就農者交流会の開催

県内の認定就農者が一堂に会し、活動状況の情報交換や将来の営農設計について話し合うなど、認定就農者間のネットワークづくりを図った。

・平成 27 年 2 月 2 日 会場：千葉市

エ 農業無料職業紹介事業の許可取得

職業安定法に定める職業紹介事業者として平成 27 年 1 月 1 日付け許可を得て、農業生産法人等へ就農希望者と県内の求人希望経営体の情報を収集し、双方の雇用関係を結ぶための活動を開始した。

(5) 種苗生産事業

県からの委託事業を受け、県内生産に適した高品質な農産物を消費者に安定的に供給するため、千葉県が育成した品種等の種苗生産に取り組んだ。

ア 農作物原種生産事業（県委託事業）

| 品 目 | 計画数量 | 生産数量 | 配布数量 |
|--------|---------|---------|---------|
| 落花生 | 1,540kg | 1,661kg | 1,205kg |
| カンショ | 3,600本 | 3,600本 | 3,600本 |
| ヤマトイモ | 1,200kg | 1,700kg | 1,200kg |
| サトイモ | 500kg | 500kg | 500kg |
| イチゴ | 1,900本 | 1,900本 | 1,498本 |
| ネギ | 2,800本 | 2,800本 | 1,950本 |
| エシャレット | 500球 | 500球 | 500球 |
| 植木 | 2,000本 | 2,245本 | 2,245本 |
| ナシ | 100本 | 育成中 | － 本 |
| ビワ台木 | 1,000本 | 1,000本 | 900本 |

2 流通対策事業

(1) 県産園芸農産物消費拡大事業

大型量販店等での生産者と消費者との交流イベントや千葉県フェア、試食販売を実施するとともに、本県園芸農産物への理解を高めるための資材を提供し、県産園芸農産物の利用促進を図った。

ア 産地主体型千葉県フェア業務（県委託事業）

県内及び首都圏の百貨店や量販店等で開催する千葉県フェアで、生産団体等が農産物を紹介し、消費者や小売業者にPRすることにより、県農産物への理解を高め、消費拡大及び小売店等での取扱量の拡大を図った。

| 開催時期 | 実施回数 | 参加産地 | 主なPR品目 |
|------|------|---------------|--|
| 6月 | 4回 | 海匝、印旛、香取君津 | キャベツ、すいか、やまのいも、さやいんげん、にんじん、とうもろこし、メロン等 |
| 8月 | 1回 | 長生 | 日本梨 |
| 11月 | 3回 | 海匝、印旛、香取長生 | キャベツ、さつまいも、トマト等 |
| 2月 | 2回 | 海匝、印旛、香取長生、夷隅 | なばな、さつまいも、さといも、トマト、ねぎ、葉たまねぎ、だいこん、きゅうり等 |

イ バイヤー招へい商談会開催業務（県委託事業）

千葉県産農産物の取扱いに関心を持つタイの食品バイヤーを千葉県へ招へいし、日本梨やさつまいも等の県内産地を案内し、生産者等から直接情報提供することにより、県内農産物に対する理解の増進を図った。

また、県内生産者団体や食品企業等との商談会を設定し、マッチングを推進することにより、タイ向けの県産品輸出促進を図った。

(ア) 招へい者

セントラル・フード・リテール、ダイショータイランド株式会社

(イ) 日程

平成26年8月4日(月)～7日(木)

(ウ) 視察先

白井市梨業組合、JAかとり栗源集送センター、モリタ農園等

(エ) 商談会参加団体

JAいちかわ、JA長生、丸朝園芸農業協同組合、(株)生産者連合デコポン、公益社団法人千葉県観光物産協会

(2) 農産物販売促進活動の推進

本県農産物の一層の販売促進を図るため、県及び農業団体と一体となって、県園芸品のPR活動や販売活動等を実施した。

ア 市場でのPR活動

(ア) 千葉県野菜・果実夏の陣

期 日：平成26年6月20日

場 所：東京都中央卸売市場大田市場

参加団体：県、全農千葉県本部、JA山武郡市、JAちば東葛
JAちばみどり

内 容：・とうもろこし、えだまめ、メロンの試食及び産地関係者のPR
・県産野菜・果実の展示(しろうり、ししとう、なす等)

(イ) 千葉県秋冬野菜出陣式

期 日：平成26年11月11日

場 所：東京都中央卸売市場大田市場

参加団体：県、全農千葉県本部、JA長生、JA山武郡市
JA千葉みらい、JA成田市、JA富里市、JAかとり
JA多古町、JAちばみどり

内 容：・さつまいも、キャベツ、だいこんなど旬を迎える青果物の展示・PR
・秋冬野菜の試食宣伝(「べにはるか」の焼き芋、旬菜スープ等)

(ウ) 千葉県野菜春の陣(トップセールス)

～千葉の産地大集合!若さで挑む～

期 日：平成27年2月6日

場 所：東京都中央卸売市場大田市場

参加団体：県、全農千葉県本部、JA長生、JA山武郡市
JA成田市、JAかとり、JAちばみどり

内 容：・春キャベツ、なばな、だいこん、ねぎ、トマト、さつまいも等
県産野菜及びその加工品の展示及び試食
・若手生産者と知事による県産野菜のPR

イ 「ちばエコ農産物」の認証に係る現地確認等業務（県委託事業）

当協会で、「ちばエコ農業」に関する指導・助言等を行う「ちばエコ農業」推進アドバイザー（30名）を登録し、県が実施する「ちばエコ農産物」の認証業務のうち、現地確認業務等を実施した。

- ・地域審査会への参画：30名
- ・現地確認：312件（個人）479件（産地）

ウ 国産花きイノベーション事業の実施

県産花きの需要拡大を図るため、生産や流通、販売に係る関係者と千葉県花き振興地域協議会を組織し、下記の活動を行った。

- ・県フラワーフェスティバルでの花文化展示（H26.12.25～H27.1.12 三越千葉店）
- ・県産花き需要シンポジウムの開催（H27.1.11 三越千葉店）
- ・県植木まつりでの植木伝統樹芸の実演（H26.10.25～26 東金市）
- ・小中学校等での花育体験の実施（H26.9～H27.1 8回 468名）

（3）6次産業化推進事業

農林漁業の6次産業化を推進するため、6次産業化を目指す農林漁業者への支援サポート体制を整備し、6次産業化ネットワークの構築に向けた推進会議や研修会・交流会の開催、新商品開発・販路開拓等の取組について支援した。

ア 人材育成研修会の開催

（ア）基礎研修会

6次産業化を目指す生産者等を現場でサポートするための人材を育成するため、基礎研修会を県下3か所（東金会場、佐倉会場、君津会場）で開催し、県・市町村・JAの担当者が参加した。

期 日：平成26年7月15日・23日・24日

- 内 容：
- ・6次産業化法認定の要件と申請書の作成
 - ・6次産業化ネットワーク活動交付金について
 - ・事業計画における売上計画・経営計画の立案について

（イ）ビジネス講座

6次産業化に取り組もうとする生産者や既に取り組みを開始した事業者を対象に、必要な情報・知識の習得や課題解決に資する講座を開催した。

a 日 時 平成26年11月27日

場 所 千葉市内

テーマ1 『加工所や農家レストランを立ち上げるには』

- ・関連法規や営農許可申請等について
- ・施設設計の考え方と施工事例

テーマ2 『事業経営の秘訣』

- ・事業経営の基本
- ・食産業における仕入れと売上げの基礎知識

日 時 平成26年12月9日

場 所 千葉市内

テーマ3 『商品開発に必須なスキルを学ぶ』

- ・食品表示や賞味期限の設定について
- ・パッケージデザインとネーミング

テーマ4 『販売ツールを学ぶ』

- ・小規模生産者でもできるeコマース
- ・魅力ある販売グッズの作り方

イ 農林漁業者等へのサポート活動

担当者を配置し、農林漁業者からの相談対応、案件発掘、情報発信等を行った。また、6次産業化に精通するプランナー8名を選定・登録して農林漁業者等に派遣した。

- ・法認定に向けた総合化事業計画の作成支援 23件（延べ82回）
- ・認定事業体のフォローアップ活動 7件（述べ11回）

(4)食育促進事業

ア 千葉の農産物「クリアファイル」等の作成配布

食育活動が地域に根ざした継続的な取組として定着するよう、各地域での食育活動に取り組む生産者団体等に対し、県産農産物を紹介した印刷資材や教材等を提供した。

（対象）教育関係（保育園、幼稚園、小学校、中学校）、生産者団体や食生活改善グループ、市町村等 5,000部作成配布

イ 食育イベントへの参画

千葉県農林総合研究センター「公開デー」への出展

休日を活用し、多くの一般消費者が集う「公開デー」に参加し、子供を対象とした食育関連のクイズを実施するとともに、参加者に本県産のサツマイモをプレゼントし、その周知を図った。

開催日 平成26年11月1日（土）

場所 千葉県農林総合研究センター

来場者数 1,700人（食育クイズ参加者300人）

(5)情報活動事業

ア 協会ホームページを開設

情報の共有・交流を促進することにより、業務運営の透明化及び適正化を図った。

(ア)開設 平成26年6月から

(イ)公開内容

- ・協会全般 協会定款、役員名簿、会員名簿、平成26年度事業計画及び予算、平成25年度事業報告及び決算等
- ・生産情報・流通情報
- ・農地情報 農地中間管理事業の内容、推進状況等

イ 機関紙「千葉の園芸」の発行

園芸技術情報誌「千葉の園芸」を毎月作成・発行し、技術情報や優良産地の取組事例などを紹介し、情報交流を促進した。

(ア)発行日 毎月1日

(イ)発行の方法

- ・協会ホームページへの掲載
- ・紙媒体での作成 発行部数 300部/月

(ウ)配付先 会員、県内の生産者、卸売市場関係者、行政関係部署、農業高校、県立図書館等

Ⅲ 野菜価格補償事業（公益目的事業２）

1 平成 26 年度の青果物に係る生産・販売概況

平成 26 年度の青果物価格は、4 月からの消費増税の影響を受けた量販店・外食等の販売不振もあり、2 月の大雪の影響を受けた一部の品目を除き安値基調で始まった。関東地方では、平年より 3 日早い 6 月 5 日に梅雨入りし、品質低下が見られただいこんや、出荷が集中したキャベツ・トマト等が軟調な販売となった。その一方で、さつまいもは残量が少なく、前年を大きく上回る価格で推移した。

7 月に入り千葉県産野菜の多くは終盤を迎え、主要品目の産地は高冷地、東北、北海道に移行したが、長雨と低温により野菜全般に入荷量が少ない状況が続いたため、全般的に堅調な展開で推移した。夏場は近年多発しているゲリラ豪雨といった大雨はなく、8 月下旬以降は残暑がやわらぎ、早めの秋の到来となった。このような中、野菜の生育は全般的に豊作傾向となり、年内の秋冬青果物の販売は重量野菜を中心に潤沢な入荷が続き、前年を下回る価格での販売となった。

年明け以降は、気温の低下により多くの品目で前年を下回る出荷量となった。にんじんが太物中心の出荷から厳しい展開が続いたものの、多くの品目で価格は回復傾向となった。

2 交付金の交付状況（事業年度ベース）

（１）千葉県青果物価格補償事業

補償交付金 76,757,080 円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

| | | | |
|------|-------------|---------|--------------|
| キャベツ | 5,053,135 円 | ねぎ | 9,222,089 円 |
| ごぼう | 3,491,579 円 | ほうれんそう | 226,074 円 |
| だいこん | 6,326,910 円 | レタス（結球） | 1,566,505 円 |
| トマト | 1,248,502 円 | わけぎ | 11,540,124 円 |
| にんじん | 359,630 円 | サラダ菜 | 37,722,532 円 |

（２）特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

ア 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

価格差補給交付金 12,055,006 円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

| | | | |
|------|-------------|------------------|-------------|
| かぶ | 68,671 円 | ブロッコリー | 2,986,228 円 |
| そらまめ | 15,161 円 | ながいも以外の やまのいも | 0 円 |
| にら | 8,984,946 円 | | |

イ 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

価格差補給交付金 42,201,832 円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

| | | | |
|---------|--------------|--------|-------------|
| 夏秋キャベツ | 23,511,712 円 | 冬春トマト | 1,760,100 円 |
| 冬キャベツ | 10,956,528 円 | 夏秋きゅうり | 395,850 円 |
| 春だいこん | 3,202,064 円 | 冬にんじん | 2,375,578 円 |
| 冬春ミニトマト | 0 | | |

3 研修会の開催

(1) 平成 26 年度野菜価格安定対策事業説明会 (第 1 回)

ア 日 時：平成 26 年 7 月 29 日 (火)

イ 場 所：全農千葉県本部 営農技術センター 研修室

ウ 参集範囲：JA

エ 参加人数：36 名

オ 内 容：野菜価格安定対策事業の概要及び事務手続き等について説明会を行った。

(2) 平成 26 年度野菜価格安定対策事業説明会 (第 2 回)

ア 日 時：平成 26 年 8 月 27 日 (水)

イ 場 所：山武市成東文化会館のぎくプラザ

ウ 参集範囲：JA、市町村、大規模生産者、農業事務所等

エ 参加人数：45 名

オ 内 容：野菜価格安定対策事業の概要及び加工・業務用野菜等に対応した契約野菜事業等について説明会を行った。

4 調査事業の実施

独立行政法人農畜産業振興機構の依頼を受けて、県産主要野菜の生育及び出荷状況を的確に把握するための状況調査を行った。

(1) 対象品目

ねぎ

(2) 協力産地

JA ちばみどり

(3) 実施状況

平成 26 年 6 月から平成 27 年 3 月まで合計 6 回実施した。

(4) 実施内容

JA ちばみどりへのヒアリングや栽培ほ場の写真撮影等を行った。

IV 農地中間管理事業(公益目的事業3)

担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の解消を加速するため、農地所有者と農業経営者の間に立って農地の貸借等を行い、農地の集団化、経営規模の拡大、新規参入を図ることを目的に、県の指導の下、公益社団法人千葉県園芸協会（農地中間管理機構 以下「機構」という）が次の事業を実施した。（「農地中間管理事業の推進に関する法律」に基づく事業）

1 農地の借受（農地中間管理権の取得）、借受農地の貸付、借受農地の管理

（単位：件、ha、千円）

| 区分 | 農地 | | |
|----------|--------|----|----|
| | 件数 | 面積 | 賃料 |
| 借受け | 75 | 40 | 0 |
| うち転貸（借受） | 31（41） | 21 | 0 |
| うち管理 | 34 | 19 | 0 |

昨年の4月からスタートした農地中間管理事業については、借受希望者の公募を2回（8月、12月）行った結果、希望者数は474件、面積は3,753haであったが、農地の貸し手の申込みが非常に少なかったこともあり、本事業による農地の貸借は伸び悩んだ。

2 一部業務の委託

機構は業務の一部を市町村、及び法人に委託し、関係者の総力で農地集積、耕作放棄地対策を推進した。

| 委託先 | 委託内容 |
|---|---|
| 13市町村2法人 （我孫子市、印西市、富里市、八街市、栄町、香取市、多古町、横芝光町、長生村、館山市、富津市、木更津市、君津市、成田市農業センター、南房総農業支援センター） | 相談窓口 出し手、受け手の掘り起こし 借受予定農用地の現地確認 出し手、受け手との交渉 契約締結に係る事務支援 |

なお、委託費は次のとおり。

⇒ 【精算額】 5,921,758円

3 必要な場合における利用条件改善業務の実施

担い手等の農地集約化を図るために必要な場合は、畦畔除去等による区画の拡大や、暗渠排水等の簡易な整備を実施するがH26年度の実績はなかった。

4 活動内容

| 項目 | 内容（場所） | 詳細（開催回数、参加人数） |
|--------------|------------------------------------|--|
| (1) 事業説明会 | 農地中間管理事業説明会 (千葉県教育会館 他2か所) | 延べ3回(5月1日、7月22日、9月30日) 約420名 |
| (2) 担い手説明会 | 地域説明会(担い手対象) (印旛 他9か所) | 延べ10回(7月15日～8月5日) 約1480名 |
| (3) 関係機関との協議 | ア. 市町村ブロック会議 (海匝+山武 他4か所) | 延べ5回(5月19日～5月23日) 約160名 |
| | イ. 市町村委託事業ヒアリング | 1回(6月17日) 30名 |
| | ウ. 集落営農推進員会議 | 1回(11月25日) 37名 |
| | エ. 千葉県農地利用集積推進会議 (千葉県教育会館 他1か所) | 延べ2回(H27年2月6日、3月20日) 約50名 |
| | (4) 研修(県外含む) | ア. 農地部職員研修 |
| | イ. 先進事例調査 (熊本県、兵庫県) | 延べ2回(10月29日～30日、11月4日～5日) |
| | ウ. 関東農政局 担当者会議、及び 意見交換会 | 延べ6回(4月21日、5月29日、7月18日、12月17日、H27年1月16日、20日) |
| | エ. 事業担当者研修(全協主催) (東京都 全国都市会館) | 延べ2回(6月9日、10日) 約40名 |
| | オ. 農地中間管理事業研修(本省主催) | 1回(H27年2月9日) 約130名 |

V 組織力強化対策事業(共益事業)

1 組織活動支援事業

県内生産者の組織化を促進することにより、経営力の向上を図るとともに、安定した品質での園芸農産物の供給力を高めるため、生産から販売面までの生産者の自主的組織活動を支援した。

(1) 事業の支援内容

- ・消費拡大事業（製品の理解促進、イベントの開催、出展、共進会等）
- ・担い手対策事業（研修会、講演会等）
- ・各種連合会の部会活動の推進

(2) 実施内容

ア 野菜関係組織活動推進事業

| 事業名 | 期日 | 場所 |
|------------------|-------------------|-------------|
| 秋冬野菜出陣式(トップセールス) | 平成 26 年 11 月 11 日 | 東京都大田市場 |
| さつまいも販売促進 | 平成 27 年 1 月 20 日 | 同上 |
| 若さで挑む野菜春の陣 PR | 平成 27 年 2 月 6 日 | 同上 |
| 販売拡大資材作成配布 | 12,000 部作成 | 県内産地 |
| 抑制トマト現地検討会 | 平成 26 年 9 月 2 日 | 富里市 |
| トマト交流会 | 平成 26 年 10 月 24 日 | JA ちばみどり管内 |
| 春夏人参指導者研修会 | 平成 26 年 12 月 16 日 | 県農林総合研究センター |
| やまといも情報交換会 | 平成 27 年 1 月 27 日 | JA 多古町管内 |

イ 果樹関係組織活動推進事業

| 事業名 | 期日 | 場所 |
|------------|------------------|------|
| かんきつ研修会 | 平成 26 年 7 月 2 日 | 館山市 |
| | 平成 27 年 3 月 13 日 | 館山市 |
| びわ研修会 | 平成 26 年 9 月 3 日 | 南房総市 |
| | 平成 27 年 2 月 13 日 | 館山市 |
| なし研修会 | 平成 26 年 4 月から | 千葉市 |
| | 平成 27 年 1 月 30 日 | 千葉市 |
| 千葉なし販売対策会議 | 平成 26 年 7 月 25 日 | 千葉市 |
| 千葉なし出荷反省会 | 平成 26 年 11 月 1 日 | 千葉市 |
| なし研究部代表者会議 | 平成 27 年 3 月 5 日 | 千葉市 |
| なしポスター作成 | 6,000 部 | |
| なし販促資材作成 | 1,000 部 | |
| 食育活動 | 5 月から 11 月 | 5 地区 |

ウ 花き関係組織活動推進事業

| 事業名 | 期日 | 場所 |
|--------------------|------------------|---------------------|
| 第35回千葉県フラワーフェスティバル | 平成27年1月8日～12日 | 千葉市 千葉三越店 |
| 第64回関東東海花の展覧会 | 平成27年1月28日～2月1日 | 東京都 池袋サンシャインシティ文化会館 |
| IFEX2014 への出展 | 平成26年10月15日～17日 | 千葉市 幕張メッセ |
| 「ちばの花」市場展示会への出展 | 平成27年1月19日～1月23日 | 東京都 大田、世田谷、北足立の市場 |
| 花き生産改善研修会 | 平成26年5月15日 | 県農林総合研究センター |
| 花き流通改善研修会 | 平成26年5月15日 | 千葉市 プラザ菜の花 |
| 後継者対策研修会 | 平成26年10月15日 | 千葉市 幕張メッセ |
| 各種部会活動の推進 | 随時 | 県下全域 |

エ 植木関係組織活動推進事業

| 事業名 | 時期 | 場所 |
|------------|------------------------------|-------------|
| 第42回植木共進会 | 平成26年10月21日～26日 | 東金市 |
| 紅くじゃく現地研修会 | 平成26年10月21日 | 県農林総合研究センター |
| 植木生産改善講習会 | 平成26年10月9日 平成27年2月23日～25日 | 県立農業大学校 |

オ いちご関係組織活動推進事業

| 事業名 | 時期 | 場所 |
|--------------|---------------------------|----------------|
| いちご販売促進資材の作成 | のぼり等 | |
| いちご研修会 | 平成26年7月17日 平成26年11月21日 | 山武市 県内いちご産地 |
| 視察研修会 | 平成26年12月2日～3日 | 宮城県山元町 |

2 活動促進事業

以下の団体に取り組む活動を支援し、連携強化を図った。

- (1) 千葉県農業会議(賛助員)
- (2) 千葉県農業用廃プラスチック対策協議会(会員)

VI その他事業(収益事業)

1 農地売買支援事業(農業経営基盤強化促進法)

離農又は経営転換する者の農地を農地中間管理機構が買い入れ、売り渡す事業は該当がなかった。

また、空港周辺農用地の買入れ、売渡し、管理、貸付け、及び代替地の管理、譲渡等については管理、及び貸付けのみ実施した。